

教育方針	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本から言葉の発達、豊かな想像力、生きる力を養う ・集団生活に慣れ、仲間づくりを体得する ・園児の体力の向上を図る ・生命の大切さを教え、人を思いやる心を育てる ・園児の体力の向上を図る一人ひとりの個性を大切にしながら、探求心や想像力を養
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会のルール、仲間への思いやりや協力することの大切さを学ぶ 2. 自然への興味、創造への意欲、言葉や数への関心、体育やリズム遊び等を年間計画のもとに指導する

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

年度評価			
	評価項目の達成状況	達成度	年度末への課題と改善策
1	保育の計画性 <ul style="list-style-type: none"> ・進級、入園した喜びを大切にしたいという思いから、少しずつ導入することで自信を持ち、達成感を味わえるようになった。 ・活動をこなすだけでなく、子どもの様子や気持ちの面を考え、一日の活動を組み立てた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に取り組むとき、急に取りかからず、導入する時間を十分に持つ。 ・先輩から助言やアドバイスをもらい、計画的に制作や行事に取り組む。
2	保育の在り方、幼児への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・やってみようという気持ち、出来た時の喜び、次もやってみようという意識が持てるように出来る限り、自主的に行動させた。 ・個々への対応をしっかりとした。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身で考えて行動できるように、危険な事以外は初めての事でも自分達で行動させる。 ・保育者は、様々な事を想定し、すぐに対応できるようにする。 ・自分の力を伸ばしていけるような援助、言葉がけ、フォローの仕方など様々な方法を常に見つけていく。
3	保育者としての資質や能力、良識、適正 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者同士でフォローし合ったり、話しやすい環境を作ることで、ゆとりを持って保育することが出来た。 ・同僚の保育者の姿からヒントを得ることが多々あり、自身の向上につなげていった。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの目線に立つこと、同じ気持ちに近づけることを目標に保育者自身の適正能力を見つけていきたい。 ・自分の個性をもっと出せるような保育をしていきたい。
4	保護者への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・園でのトラブルを心配する家庭が多く、様子をもっと伝えていく必要があった。 ・成長に合わせて、焦らず見守っていく事を提案。一緒に考え、保護者に寄り添えるようにした。 ・子育ての経験が保護者の気持ちに気づくことが出来た。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・その日に起きた事は、その日のうちに伝える。 ・話しやすい雰囲気をつくり、母親が孤立しないように配慮する。 ・発達障害と診断された子の保護者対応として、理解、知識を深め接していくことを課題としたい。